|  |  |
| --- | --- |
| 春木校章改 | 令和2年12月24日1月号ＮＯ.13**春木小学校園だより** |

**1月の予定**



◎お詫び

　音楽会に代わる合唱について

別紙でもお伝えしましが、音楽会の開催が難しいため、各クラスの合唱などの様子を動画で撮り、懇談会時に放送する予定でしたが、感染症拡大をうけまして、この活動も延期もしくは中止いたしました。

感染状況などを考えながら、3学期では、何か発信できないものかと考えています。

また、HPは毎日更新しています。

日々の子どもたちの様子は、こちらをご覧ください。

◎感染症拡大防止に向けて

こちらも、別紙でお伝えしましたが、感染症拡大防止に向けて、3学期も検温してからの登校、健康チェックカ－ドの記載、マスクの着用のご協力をお願いいたします。

なお、12月29日(火)～1月3日(日)までは、年末年始の休業のため留守番電話になっています。問い合わせなどがありましたら、1月4日(月)にお願いいたします。

【校長室から】　　　　　　　　　　　　　産業革命

　昔、中学校の社会科の教員だったこともあり、今回は産業革命についてお話ししたいと思います。

事の起こりは、17世紀末のイギリスから。イギリスは伝統的に毛織物が盛んで各地でギットンバッタン手織りの機織り機を動かしていました。そこへ、ジョン・ケイという人が「飛び杼(ひ)」というものを開発します。この飛び杼の導入で機織りのスピ－ドが大幅アップ。ここから機織り機や紡績機(糸をつむぐ機械)が改良につぐ改良が進みます。折しもイギリスはインドを植民地にして毛織物の「毛」に代わる綿織物の「綿」が安く大量に入手できたのです。

気が付けば機械の改良は、蒸気でモノを動かす、いわゆる「蒸気機関」の登場になりました。馬車は機関車に代わりました。ボートも蒸気で動き人間は疲れなしです。

蒸気は、石炭を燃やすことで生み出されました。石炭は黒いダイヤとも呼ばれ時代の中心に。

これが最初の産業革命です。

時代は進んで第一次世界大戦。産業革命に成功したヨ－ロッパの国同士が戦いました。その戦争の最初に恐れられたのは、機関銃。一つ引き金を押すだけで自動的に大量に弾が飛んできます。これを避けるために塹壕とよばれる地下道を掘り進めました。この地下道を突破するために生まれたのが戦車。戦争の最後には、飛行機も登場しました。そして、機械を動かす動力が石油に代わり、アメリカを中心とした自動車産業が世界を席巻しはじめました。これが2回目の産業革命。

そして、間もなく終わろうとしている2020年現在、世界は第四次産業革命のなかにあるといわれています。

「IoT」や「AI」や「ブロックチェ－ン」など。何のことかは、一度調べてみてください。